

平成 25 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 26 年 5 月

鳥取県立精神保健福祉センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	2 頁
4	職員の定員、現員調べ	2 頁
5	役付職員の調べ	3 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	収入証紙取扱額調べ	8 頁
8	収入事務処理状況調べ	8 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	9 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	9 頁
11	不納欠損額調べ	9 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	10 頁
14	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁

精神保健福祉センター個別事項	
22	当該年度における業務の概要 14頁
23	技術指導・技術援助の実施状況 14頁
24	教育研修の実施状況 15頁
25	広報普及状況 18頁
26	精神保健福祉相談の受付状況 18頁
27	新規所内相談の実施状況 18頁
28	新規所外相談者の地域別状況 19頁
29	新規電話相談の実施状況 19頁
30	組織育成の状況 20頁
31	くらしの講座の実施状況 20頁
32	イブニングサークルの実施状況 20頁
33	通院公費負担医療・精神障害者保健福祉手帳交付判定の状況 20頁
34	鳥取県精神医療審査会における審査状況 21頁
35	主な施設の整備状況 21頁
36	意見、要望等 21頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>精神保健福祉センターについて（文書指摘）</p> <p>近年、ひきこもりや発達障がい等の相談、並びに家族からの相談など、医療機関での対応が難しい事例の増加により、当該センターの役割はますます重要になっている。</p> <p>当該センターは、精神保健福祉にとって重要な活動をしているにも関わらず、医師は所長一人であり、医師の複数体制か、保健師など保健医療の知識を持ったスタッフの充実を図るべきである。</p> <p>併せて、人材育成及び連携強化の観点から、当該センターをフィールドワークの場として、鳥取大学医学部、県立病院等に医師の派遣を要請し、人的交流を検討する必要がある。</p> <p>また、現在ほとんど使われていない施設があるなど、効果的な施設の活用とは言い難い状況である。相談室を増やすなど、現在のサービスに即した施設のあり方についても検討する必要がある。</p>	<p>処理方針</p> <p>当センターの医師は所長一人であるが、スタッフには精神保健福祉士、心理判定員、保健師などの専門職を配置しており、また、保健所、市町村、医療機関等と連携することで、複雑かつ多様な精神保健福祉相談に対応している。</p> <p>当センターと医療機関との人的交流は、職員の資質向上や連携強化の観点からも有益ではあるが、それぞれの果たす役割の違いや医師不足などの現状を考慮すると課題も多いことから、これまで以上に相互の連携を強化していくことで、相談業務の円滑な運営に努めていきたい。</p> <p>また、過去に障がい者デイケアに使用されていたデイルームや多目的実習室は、現在はできるだけ相談室として使用（プライバシー保護のため待合室も兼ねた複数の相談室が必要）しており、年々増加する相談業務に有効活用している。</p>

3 組織及び業務調べ

課 名	係名	課 の 主 な 所 掌 事 務
こころの健康増進課	なし	1 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する調査研究に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第45条第1項の申請に対する決定及び「障害者総合支援法」第52条第1項に規定する支給認定（精神障害者に係るものに限る。）に関する事務のうち専門的な知識及び技術を必要とするものを行なうこと。 5 各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。
地域支援課	なし	1 精神障がい者の社会参加・社会復帰の促進に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 鳥取県精神医療審査会に関すること。 5 前各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成26年 4月 1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
		当 該 年 度	25.4.1 現 在							
	定 員	6	6	4	4	0	0	10	10	
	現 員	7	6	4	4	0	0	11	10	
	過不足(△)	1	0	0	0	0	0	1	0	平成26年9月～育児休業取得予定(1名)
	臨 時 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非 常 勤 職 員	1	1	0	0	0	0	1	1	事務員(1名) 「自死対策情報センター」職員

5 役付職員の調べ

(平成26年 5月 1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
福祉保健部参事監 兼 所長 兼 地域支援課長	原 田 豊	年 月 2 2 7	
次長 兼 こころの健康 増進課長	大 塚 月 子	3 1	継続勤務 8年1月
(併) 地域支援課医長	植 田 俊 幸	7 7	本務 厚生病院医長
(兼) 課長補佐	奥 田 雅 裕	3 1	出納員 本務 東部県税事務所課長補佐

6 主な事業に関する調べ

事 業 名	概 要
<p>自死対策事業</p> <p>(経費は、精神保健福祉センター運営費の標準事務費(5,909千円)及びみんなで支えあう地域づくり事業(自死対策緊急強化事業)により対応)</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 自殺対策基本法では、自死対策は地方公共団体の責務であり、地域の状況に応じて取組むこととされており、地域、職域等における自死対策の推進を図るため、専門的立場から技術的支援等を行うとともに自死遺族支援を行った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【自死対策情報センターの運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人材育成研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等の保健師等を対象に「睡眠障害の把握と保健指導」をテーマに研修会を開催した。(16、17頁参照) ○ 情報収集・情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取県における自死の状況～平成24年度の統計～」を作成し、ホームページに掲載した。 ○ 関係機関のネットワークの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・東部福祉保健事務所及び中・西部総合事務所(以下「福祉保健事務所等」)の担当者を集めた連絡調整会議を開催し、各圏域ごとの取組みについて情報交換等を行った。(2回) ・福祉保健事務所等が開催する市町村担当者連絡会や相談窓口担当者連絡会等に参加し、各機関の取組み状況について情報収集するとともに、情報提供、助言等を行った。 <p>【技術的支援(主なもの)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村、福祉保健事務所等が行う自死対策事業に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者連絡会、相談窓口担当者連絡会において助言等を行った(8回)。 ・自死対策講演会(「大切なあなたのために～一人一人ができること～」等)やゲートキーパー養成研修会等への講師派遣を行った(7回)。 <p>※ゲートキーパーとは、地域や医療、保健、福祉、職場、教育などの分野における支援活動において、自死のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門機関へつなぐ役割が期待される人材のこと。平成25年度は市町村等</p>

事業名	概要																								
	<p>において1,654人養成（平成25年12月末現在）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康教育で活用できるリーフレット及びパワーポイント等を作成し、市町村に配布した。 <p>○ 日南町こころの健康づくり事業に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 日南町ネットワーク会議及び研修会（1回） こころの健康づくり連絡会及びこころの健康相談（4回） <p>【自死遺族支援】</p> <p>○ 「自死遺族の集い」を毎月1回、鳥取市さざんか会館（偶数月）と米子市ふれあいの里（奇数月）で土曜日に開催した。</p> <p>[参加者数] (単位:人、括弧内は新規再掲)</p> <table border="1" data-bbox="459 667 1469 752"> <tr> <td>鳥取</td> <td>4月</td> <td>3(0)</td> <td>6月</td> <td>4(1)</td> <td>8月</td> <td>4(1)</td> <td>10月</td> <td>3(1)</td> <td>12月</td> <td>3(0)</td> <td>2月</td> </tr> <tr> <td>米子</td> <td>5月</td> <td>4(0)</td> <td>7月</td> <td>1(1)</td> <td>9月</td> <td>5(2)</td> <td>11月</td> <td>4(0)</td> <td>1月</td> <td>/</td> <td>3月</td> </tr> </table> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>うつ病患者の約9割に不眠が認められる一方で、不眠の慢性化はうつ病発症の危険因子といわれていることから、健康診断等で住民の睡眠状況を把握する機会が多い市町村及び職域の保健師等を対象に「睡眠障害」をテーマにした研修会を開催した。また、それに併せて睡眠チェックリストを盛り込んだリーフレットと指導用パワーポイントを作成し、保健指導を行いやすいよう技術支援を行った。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村等では妊婦教室や老人クラブ等様々な対象者に対し、睡眠障害等に関する健康教育が実施されるようになった。（開催回数45回） 研修会で自死遺族の体験談を聞くなど、市町村においても自死遺族に対する理解が深まりつつある。 <p>エ 課題</p> <p>地域住民に対し健康健康教育やゲートキーパー研修を行う市町村等への技術的支援を行うなど、今後も引き続き地域で自死対策が推進されるように取組む必要がある。</p> <p>自死遺族の集いは、新規参加者が少ない状況にあるが、家族を自死で亡くされてからかなりの年数を経てようやく参加できたと言われる方やあえて行政が行う会へ参加したという方もあった。参加のきっかけは新聞広告や市報などを見て参加したという方が多く、今後も自助グループとも連携しながら会を継続し、広報等でも会を周知することが必要である。</p>	鳥取	4月	3(0)	6月	4(1)	8月	4(1)	10月	3(1)	12月	3(0)	2月	米子	5月	4(0)	7月	1(1)	9月	5(2)	11月	4(0)	1月	/	3月
鳥取	4月	3(0)	6月	4(1)	8月	4(1)	10月	3(1)	12月	3(0)	2月														
米子	5月	4(0)	7月	1(1)	9月	5(2)	11月	4(0)	1月	/	3月														
<p>ひきこもり支援 機関連絡会</p> <p>（経費は、精神保健福祉センター 運営費の標準事務費(5,909千円) により対応）</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>ひきこもりは、長期化すると社会生活を再開することが困難になることが多く、また、中には何らかの障がいや精神疾患を認める者もあり、精神科医療や障がい福祉サービスに繋ぐことが必要な場合もあることから、早期に介入し支援を行うことが重要である。関係機関が連携を図ることで総合的なひきこもり支援が行えるよう、専門的な立場から助言等を行う。</p>																								

事業名	概要															
	<p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回(第2木曜日)開催 ・事例について、支援にいたる経緯や支援内容等を情報交換し、今後の支援方針を検討した。 <p><連絡会の参加機関></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとりひきこもり生活支援センター(県がNPO法人鳥取青少年ピアサポートに委託、ひきこもりの状態にある本人、保護者からの相談を受ける) ・とっとり若者サポートステーション(国が社会福祉法人鳥取こども学園に委託、若者無業者本人及び保護者への職業的自立の支援を行なう) ・東部福祉保健事務所、中部総合事務所福祉保健局、西部総合事務所福祉保健局 ・相談支援センターサマーハウス(東部4町が委託、自宅にひきこもり、障がい福祉施策に関する情報が行き届いていない障がい者等への家庭訪問を実施) <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの事例について関係機関の連携が図れており、相談数も年々、増加傾向にある。 <p>[検討事例数]</p> <table border="1" data-bbox="568 1115 1457 1234"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>38人</td> <td>64人</td> <td>62人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>延人数</td> <td>165人</td> <td>157人</td> <td>138人</td> <td>195人</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 課題</p> <p>長期化したひきこもりをもつ家族は高齢化しており、特に40代後半以上の年齢になるひきこもり本人への支援は、社会参加を促す職場体験や就労支援だけでなく、地域で生活するための経済的支援や自立した生活をおくるための生活支援等が必要となることから、今後、市町村の福祉・障がい者支援担当課との連携がますます重要となってくる。現在は、とっとり若者サポートステーションが開催する年2回の連絡会等で市町村との連携を図っているところであるが、今後、個別の事例を通しながらさらに連携を深めていく必要がある。</p>		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	実人数	38人	64人	62人	70人	延人数	165人	157人	138人	195人
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度												
実人数	38人	64人	62人	70人												
延人数	165人	157人	138人	195人												
東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>アルコール関連問題については、保健、医療、福祉の関係機関はもとより、職場、地域、家庭のなかにも様々な課題がある。それらの課題を解決していくためには、各関係機関が連携して取り組むことが必要である。各関係機関が、事例検討・情報交換を通してネットワークを作ることを目的に研究会を開催する。</p> <p>(イ) 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奇数月の第1金曜日 午後2時～4時に開催 (17頁参照) 															

事業名	概要
決算見込額 144千円 (財源内訳) 国庫支出金 48千円 一般財源 96千円	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度は薬物事犯の刑の一部執行猶予制度（刑期の一部を保護観察とし回復プログラムを受けさせる）を盛り込んだ改正刑法やアルコール関連問題対策基本法の成立等依存症者に対する国の動きがあり、国の動向を見ながら年間の内容を検討し開催した。 近年、脱法ハーブによる依存症者が増えていることから、埼玉県立精神医療センターで薬物依存症者の回復と支援に取り組んでいる医師を講師に招いて、県内全域を対象にアディクション（嗜癖）研修会を開催した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加機関が行政や医療機関だけでなく、司法関係（検察庁、保護観察所）や更正保護施設等様々な機関から参加者が増えた。 事例報告やそれぞれの機関の活動内容報告などを通じて地域における取組を知ることができ、関係機関で現状把握や課題の共有につながった。 <p>エ 課題</p> <p>依存症対策に関する国の動き等を把握しながら内容を検討し、関係機関同士の連携がより円滑に図れるように研究会を行うことが必要である。</p>
精神障がい者地域移行支援強化事業 決算見込額 139千円 (財源内訳) 一般財源 139千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>精神障がい者の地域移行支援を行う人材の育成及び資質の向上を図ること等により、地域移行・地域定着支援事業が推進するよう支援を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>各種の研修会を開催し、人材育成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域移行・地域定着支援従事者養成研修会（15、16頁参照） <p>今後の入院制度改革と地域生活支援について、県内における地域移行の現状及び相談支援事業所における地域移行・地域定着支援の取組みについて、連携について（講義、実践報告、事例検討、グループ討議等）</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>これまでの地域移行支援事業の取組みを共有し今後の地域移行を継続するために、実践報告および事例検討を行うとともに連携を深めるための話し合いを実施した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>医療機関等において地域移行支援の取組みが定着してきており、関係機関職員の意識向上や専門職のスキルアップにつながっている。</p> <p>エ 課題</p> <p>精神障がい者が退院して地域生活を送るためには、医療機関や地域で障がい者の相談を受ける障がい者支援センターなどの支援が重要である。</p> <p>精神障がいの特性および地域移行支援事業の理解と支援のスキルアップを図り医療機関および障がい者支援センターでの普遍的で実践的な支援となるために、引き続き系統的な研修会を行うことが必要である。</p>

事業名	概要
<p>くらしの講座</p> <p>決算見込額 280千円 (財源内訳)</p> <p>国庫支出金 93千円</p> <p>一般財源 187千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 精神障がいのある方が、病気や障がいへの対処等について学んだり、趣味の幅を広げたり、健康の増進などを行うことで、地域でより自分らしい生活をしていくことを支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 週1～2回(月・木・日曜日)午後1時30分～3時30分 ・4か月1クールに期間を区切り、平成25年度は3クール実施。 ・利用者数は、実利用数36人 延利用者数218人(平成25年12月末現在) <p>【講座内容】</p> <p>1 学習講座 2 健康管理講座 3 リラックス講座 4 ソフトバレーボール講座 5 フットサル講座 6 手芸講座</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>全国障害者スポーツ大会において、精神障がい者の競技は、従来、バレーボールのみであったが、平成25年度大会のオープン競技として、精神障がい者フットサルが実施され、各地でクラブチームが結成され、活動が行われている。そこで、精神障がい者のスポーツ振興を目的に、フットサル講座を新たに始めた。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習講座において、同じシリーズで年2回開催し、病気や障害への対処、生活や職場での工夫など、当事者同士の学習、意見交換ができた。 ・ソフトバレー講座については、例年講座参加者でチームを結成し、県大会に出場している。県内の他チームと合同練習等にも参加しており、障害者のスポーツ振興につながっている。 ・フットサル講座については、サッカー経験の有無を問わず、活動を始めるきっかけ作りになっており、今後精神障がい者フットサルの普及につながるよう、今後も継続していった。 <p>エ 課題</p> <p>当講座は、当事者の相互交流や情報交換、趣味やスポーツなどの活動の場であり、それぞれの目的に応じて、講座を選択し、参加されている。</p> <p>障害者自立支援法施行後、福祉サービスが整備され、当事者の日中活動の場は広がったが、既存の制度では補えない部分もある。</p> <p>今後とも、地域や対象者のニーズ等の実情を勘案しながら、内容や実施方法を工夫をしていく必要がある。</p>

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成25年12月31日現在)
(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節						
行政財産使用料	行政財産使用料	鳥取県精神障害者家族会連合会事務局の使用にかかるもの	2	24,340	24,340	0	0	鳥取県行政財産使用料条例
	計(節)			24,340	24,340	0		
目計			2	24,340	24,340	0		
合計			2	24,340	24,340	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成25年12月31日現在)
(単位:円)

収 入 科 目			件 数	調 定 金 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	根 拠 法 令 名 等	備 考
目	節	細 節							
雑入	雑入	精神障害者家族 会連合会利用分 光熱水費等	3	8,126	8,126	0	0	公有財産事務取扱 要領	
		自立支援医療 意見書作成料	6	26,250	26,250	0	0	障害程度区分の医師 意見書の取扱い及び これに係る施行事務 補助金について(厚 生労働省事務連絡)	
目 計			9	34,376	34,376	0	0		
合 計			9	34,376	34,376	0	0		

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金、委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成25年12月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
(精神衛生費) 支出額が10万円 未満のもの						60,000		
目 計						60,000		
合 計						60,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料 該当なし

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1.4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成25年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)	
行政財産	本館	鳥取市江津318-1	972.80	202,620,785					無		972.80	202,620,785	
	車庫	鳥取市江津318-1	32.50	4,757,295					無		32.50	4,757,295	
	自転車置場	鳥取市江津318-1	8.11	1,107,769					無		8.11	1,107,769	
合計			1,013.41	208,485,849							1,013.41	208,485,849	

ウ 山林 該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払い状況

(平成25年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手類	80,700 円	166,080 円	157,900 円	88,880 円	
合計	80,700	166,080	157,900	88,880	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成25年12月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
156 枚	0 枚	2 枚 2,220 円	154 枚

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成25年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	団体事務局	鳥取市江津318-1	3.3 m ²	H25.4.1	H15.4.1	H25.4.1 ~ H26.3.31	丹後・年額 21,280	円 21,280	鳥取県精神障害者家族会連合会	
計								21,280		
普通財産		該当なし					月額・年額			
計										
合計								21,280		

(2) 物品 該当なし

- 16 借受不動産明細調べ 該当なし
- 17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 19 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 20 備品の処分状況調べ 該当なし
- 21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

精神保健福祉センター

2.2 当該年度における業務の概要

- (1) 自死対策事業（3頁に記載）
- (2) ひきこもり支援機関連絡会（4頁に記載）
- (3) 東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会（5頁に記載）
- (4) 精神障がい者地域移行支援強化事業（6頁に記載）
- (5) 暮らしの講座（7頁に記載）

2.3 技術指導・技術援助の実施状況

(1) 関係機関別状況

（単位：回、人）（平成25年12月31日現在）

関係機関	保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	社会福祉施設	介護老人施設	障害者支援施設	教育
回数	35	30	0	26	15	2	6	36
対象者延人員	1,554	811	0	808	72	60	379	662

関係機関	司法	労働	警察	看護学校	行政	その他	計
回数	25	4	5	15	64	7	270
対象者延人員	245	113	400	588	1,204	334	7,230

(2) 地域別状況

（単位：回、人）（平成25年12月31日現在）

区分	総数		相談		講演		会議		看護学校業務		家族教室		ボランティア講座		学生実習		視察見学		その他	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
鳥取保健所管内	116	2,596	56	153	15	571	26	424	15	588	0	0	0	0	0	0	1	10	3	850
倉吉保健所管内	16	290	1	1	6	172	5	59	0	0	2	30	0	0	0	0	0	0	2	28
米子保健所管内	38	793	4	8	8	330	18	373	0	0	2	20	1	20	0	0	0	0	5	42
全 県	76	2,354	7	50	21	1,160	47	1,131	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0
県 外	24	1,197	0	0	5	330	12	574	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	6	285
計	270	7,230	68	212	55	2,563	108	2,561	15	588	4	50	1	20	0	0	3	31	16	1,205

2.4 教育研修の実施状況

(単位：人) (平成25年12月31日現在)

研修会・講習会等の名称	開催年月日	内容・講師	対象	場所	参加人員								
					保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	老人施設	障害者施設	福祉施設	その他	計
就労支援関係者研修会	平成25年6月5日	<p>■講義 「精神障がい・発達障がいの理解と対応について」 精神保健福祉センター 原田 所長</p> <p>■講義 「関係機関との連携について」 相談支援センター・サマーハウス 精神保健福祉士 影井 氏</p> <p>■意見交換 「各関係機関の取り組みについて」</p>	就労関係障害福祉サービス事業所等の職員	倉吉体育文化会館中研修室	0	0	0	0	0	43	1	1	45
就労支援研修会	平成25年6月29日	<p>■講義 「働きたいを応援する～就労支援をストレスで考えてみよう～」 Office夢風舎 舎長 土屋徹 氏</p>	就労関係事業所（実務経験3年以上）、市町村・相談支援事業所、精神科医療機関	倉吉体育文化会館中研修室	2	0	0	13	0	26	0	0	41
精神科訪問看護研修会	平成25年8月31日	<p>■講義 「訪問看護における精神疾患と薬物治療」 精神保健福祉センター 原田所長</p> <p>■講義 「訪問看護に求められる技術」 日本精神科看護技術協会 専務理事 仲野栄 氏</p> <p>■情報交換 「各機関の取組について」 全体会とまとめ</p>	精神科医療機関・訪問看護ステーション・相談支援事業所・行政機関等	福祉人材研修センター中研修室	3	0	23	0	0	2	0	12	40
精神障害者地域移行支援強化事業研修会	平成25年9月14日 (第1回養成研修)	<p>■講演 「今後の入院制度改革と地域生活支援について～保護者制度とアウトリーチ支援～」 天理医療大学教授 末安民生 氏</p> <p>■事例検討 事例提供 ・鳥取医療センター ・西伯病院</p>	精神障害者地域移行支援に関心のある精神科医療機関、障害サービス事業所及び市町村、福祉保健局等の職員	新日本海新聞社中部本社 日本海ホール	5	3	0	18	0	8	0	0	34

研修会・講習会等の名称	開催年月日	内容・講師	対象	場所	参加人員								
					保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	老人施設	障害者施設	福祉施設	その他	計
精神障害者地域移行支援強化事業研修会	平成25年10月31日 (第2回養成研修)	<p>■行政説明 「鳥取県における地域移行の現状について」 鳥取県障がい福祉課 精神保健担当 森 係長</p> <p>■講義 「退院促進事業から地域移行・地域定着支援へ」 精神保健福祉センター 原田所長</p> <p>■実践報告 「相談支援事業所における地域移行・地域定着支援への取り組み」 相談支援センター・サマーハウス 精神保健福祉士 浦島 氏</p> <p>■意見交換 「お互いの役割を理解しよう」 各専門職からの報告 米子病院 中原 氏 渡辺病院 諸家 氏 倉吉病院 勝部 氏</p> <p>■グループワーク ～連携・役割分担・協働の視点で～</p>	精神障害者地域移行支援に関心のある精神科医療機関、障害サービス事業所及び市町村、福祉保健局等の職員	倉吉体育文化会館 大研修室	2	3	0	19	0	4	0	5	33
第1回社会復帰関係者連絡会 (デイ・ケア等連絡会)	平成25年10月9日	<p>■講義 「職場のメンタルヘルス」 精神保健福祉センター 原田所長</p> <p>■報告 「プレリワークプログラムの実際」 渡辺病院 臨床心理士 岡 氏</p> <p>■報告 「デイケアにおける復職支援」 上田病院 精神保健福祉士 上島 氏</p>	精神科医療機関、市町村デイ・ケア等担当者、総合事務所福祉保健局精神障害担当者、地域活動支援センターサマーハウス	中部総合事務所 203会議室	0	6	0	10	0	2	0	0	18
自死対策研修会	平成25年6月19日	<p>■講演 「睡眠障害把握の実際及びその結果に基づく睡眠保健指導について」 精神保健福祉センター 原田所長</p>	市町村・保健所の担当者、職域の健康管理担当者等	中部総合事務所 202会議室	6	11	0	0	0	0	0	13	30

研修会・講習会等の名称	開催年月日	内容・講師	対象	場所	参加人員								
					保健所	市町村	福祉事務所	医療施設	老人施設	障害者施設	福祉施設	その他	計
中国・四国精神保健福祉センター所長等会議（研修会）	平成25年 9月6日	■報告 「鳥取県職員を対象とした睡眠調査とメンタルヘルス対策」 鳥取県福利厚生課 参事 渡部 氏 ■講演 「うつ病予防を視野に入れた不眠治療のあり方」 東京医科大学 睡眠学講座教授 井上雄一 氏	中国・四国精神保健福祉センター所長等会議出席者	白兔会館	0	0	0	0	0	0	0	38	38
			県内の市町村・保健所・職域の保健師等		4	6	0	0	0	0	0	6	16
東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会（第1回）	平成25年 5月17日	■報告 「アルコール飲酒者の救急搬送の現状について」 消防局警防課 係長 西村政明 氏 「救急搬送され、酩酊して一般医療現場を困らせていた1事例をめぐって」 渡辺病院 診療部長 山下陽三 氏 「精神科救急におけるアルコール依存症者に対する対応について」 鳥取県断酒会 理事長 杉原雄嗣 氏	東部地域の医療・保健・福祉関係者及び職域保健関係者等	福祉相談センター会議室	4	0	0	10	0	1	0	10	25
（第2回）	平成25年 7月6日	■事例検討 「アルコール問題を抱えた事例への対応について」 事例提供 ・岩美町健康対策課 ・鳥取生協病院				1	4	0	8	0	1	0	10
（第3回）	平成25年 9月20日	■施設見学（鳥取ダルク見学） ミーティング見学及び施設活動報告		鳥取ダルク	0	2	0	4	0	0	0	12	18
（第4回） （アディクション研修会）	平成25年 11月1日	■講演 「依存症の理解と回復支援について」 埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬暢也 氏	市町村・県等の関係職員等、医療機関の精神保健福祉士・看護職員等、職域の保健師等	倉吉未来中心セミナールーム3	3	9	0	7	0	4	0	12	35
計					30	44	23	89	0	91	1	119	397

25 広報普及状況（平成25年12月31日現在）

（単位：回、人）

区 分	延回数	対象者延人数
講 演 会 等	25	884
出 版 物 作 成	0	0
教 育 教 材 貸 出	12	12
そ の 他	0	0
計	37	896

26 精神保健福祉相談の受付状況（平成25年12月31日現在）

（単位：件）

区 分	年度内新規件数	繰越件数	延 件 数
所 内 相 談	261	282	2,980
所 外 相 談	32	18	90
電 話 相 談	276	44	2,135
計	569	344	5,205

27 新規所内相談の実施状況

(1) 年齢別、性別状況

（単位：人）（平成25年12月31日現在）

区 分	12才以下	13～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70才以上	不 詳	計
男	16	32	34	25	23	10	4	1	2	147
女	4	24	31	18	21	10	5	1	0	114
計	20	56	65	43	44	20	9	2	2	261
構成比(%)	8	21	25	16	17	8	3	1	1	100

(2) 地域別状況

（単位：人）（平成25年12月31日現在）

地 域	鳥取保健所 管 内	倉吉保健所 管 内	米子保健所 管 内	県 外	計
人 数	229	18	7	7	261

(3) 相談内容別状況（単位：人）（平成25年12月31日現在）

相 談 内 容	精神保健福祉相談	再 掲	
		思 春 期	酒 害
男	147	41	1
女	114	26	0
計	261	67	1

(4) 処遇状況

（単位：件）（平成25年12月31日現在）

処 遇	他機関紹介	継続指導	助言経過観察	来所予約	その他	計
件 数	6	128	84	13	30	261

28 新規所外相談者の地域別状況 (単位：人) (平成25年12月31日現在)

地域	鳥取保健所管内	倉吉保健所管内	米子保健所管内	県外	計
訪問指導	0	0	0	0	0
その他	25	2	5	0	32
計	25	2	5	0	32

29 新規電話相談の実施状況

(1) 年齢別・性別状況

(単位：人) (平成25年12月31日現在)

区分	12才以下	13~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70才以上	不詳	計
男	2	10	21	26	20	13	11	2	31	136
女	1	11	19	13	15	14	9	6	52	140
計	3	21	40	39	35	27	20	8	83	276
構成比(%)	1	8	14	14	13	10	7	3	30	100

(2) 地域別状況

(単位：人) (平成25年12月31日現在)

地域	鳥取保健所管内	倉吉保健所管内	米子保健所管内	県外	不詳	計
人数	143	30	50	10	43	276

(3) 相談内容別状況

(単位：人) (平成25年12月31日現在)

相談内容	精神保健福祉相談	再 掲	
		思 春 期	酒 害
男	136	11	11
女	140	12	0
計	276	23	11

(4) 処遇状況

(単位：件) (平成25年12月31日現在)

処 遇	助言指導	来所予約	他機関紹介	継続指導	来所勧奨	終了	その他	計
件 数	221	11	9	22	7	0	6	276

30 組織育成の状況

(単位：人) (平成25年12月31日現在)

名 称	対 象	対 象 者 延 人 数
共同作業所育成	地域作業所、県精神障がい者作業所連絡会	50
家族会育成	地域家族会、県精神障がい者家族会連合会	416
精神保健福祉協会	精神障がい者スポーツ大会、心の健康フォーラム	1,746
てんかん協会	日本てんかん協会鳥取県支部連絡会、研修会等	65
鳥取いのちの電話	鳥取いのちの電話相談員	196
ひきこもり対策支援団体	NPO鳥取青少年ピアサポート連絡会、家族会	70
発達障がい児・学習障がいの親の会	親の会「らっきょうの花」「ラビットの集い」等	125
統合失調症当事者自助グループ	精神障がい者当事者自助グループ	193
SST (ソーシャル・スキルズ・トレーニング) 研究会	SST研究会連絡会、研修会等	33
精神障がい者スポーツ振興推進団体	東部地区精神障がい者バレーボール団体	28
犯罪被害者自助グループ	犯罪被害者自助グループ	24
自死遺族自助グループ	自死遺族の会	115
精神障がい者支援団体	精神障がい者を支援する会「ベストフレンド」	60
計		3,121

31 暮らしの講座の実施状況 (単位：回、人) (平成25年12月31日現在)

開催回数	参加実人員	参加延人員	備 考
44	36	218	

32 イブニングサークルの実施状況 (単位：回、人) (平成25年12月31日現在)

開催回数	参加実人員	参加延人員	備 考
1	6	6	

33 自立支援医療(精神通院医療)・精神障害者保健福祉手帳交付判定の状況 (単位：件) (平成25年12月31日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
精神通院医療	724	726	595	539	612	508	502	657	517	-	-	-	5,380
精神障害者保健福祉手帳	138	119	106	97	123	101	97	121	92	-	-	-	994

34 鳥取県精神医療審査会における審査状況

(単位：件) (平成25年12月31日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療保護入院届	82	124	81	68	112	82	70	109	76	-	-	-	804
定期報告 措置入院	-	1	2	-	3	-	-	-	2	-	-	-	8
定期報告 医療保護	33	85	44	34	48	64	38	57	63	-	-	-	466
退院請求 措置入院	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
退院請求 医療保護	-	2	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	7
処遇改善 措置入院	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
処遇改善 医療保護	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	115	214	128	103	163	146	109	170	141	-	-	-	1,289

35 主な施設の整備状況調べ 該当なし

36 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし